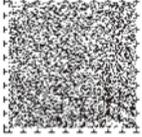


# JOURNAL

2019  
vol.63

特集  
くるめフォーラム2019開催





## 経済と男女共同参画講座

# くろめの地域力で経済活性化



講師 藻谷浩介さん  
((株)日本総合研究所 主席研究員)



講師が受講者に対して問題提起  
イメージや思い込みが事実と異なることを  
認識しました。

少子高齢化による労働力人口の減少は田舎、都会に関係なく日本全体で進んでいる。久留米市も例外ではなく、女性を始めとする多様な人材を活用することは、経済社会の活性化にとって必要不可欠である。

しかし大多数の人はイメージ、思い込みにより問題をとらえ、問題の本質を見ていないことが多い。例えば、「女性が働く」と少子化が進む」などの思い込みをしている人もいるが、女性の就労と出生の関連性をデータで見るとむしろそのイメージとは逆である。若い女性の就業は所得増につながり、出生率が上がる。データと数値を確認していくことで、問題の本質が見えてくる。

日本経済における本当の課題は少子高齢化や労働力の不足ではなく、現役世代の減少と消費者の不足である。経済再生のためには、旺盛に消費する現役世代のワークライフバランス回復が必要である。

男性中心の意識を改革し、男女が家庭も職場も地域も共に責任を担い、「働き方改革」や「女性活躍推進」を進めていくことにより、女性就労の促進と男女間賃金格差を解消していくこと。これが経済再生の鍵である。

「イメージ」や「空気感」は事実と違う事を意識し、常に事実を数字で確認し冷静に見分けることが重要である。そのことを踏まえたうえで女性が活躍できる経済社会の構築等をすすめる必要がある。

## 就職支援講座

## ～ 女性のためのパソコン技術習得講座 ～

### 女性の社会進出を応援!

パソコン基礎講座：9月13日より全4回

日商PC3級検定対策講座：10月8日より全8回

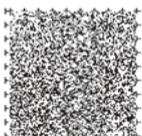
男女平等推進センターの能力開発室を活用して、仕事に役立つパソコン技術を習得する講座を実施しました。就職、転職、スキルアップなどの目標を持った受講者のみなさんが真剣に課題に取り組み、また資格取得をめざしました。

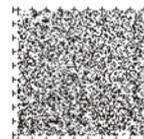
#### …参加者の声(アンケートから要約・抜粋)…

- ・基本から応用、実務に活かせる内容の説明もあってよかった。
- ・初心者であるため周囲に迷惑かけるのではと心配していたが、わからない所を丁寧に教えてもらってストレスなく受講できた。
- ・託児が心配だったが、子どもも段々慣れてくれて、自分のしたい勉強がしっかりできてよかった。



一人一台のパソコンが配備された環境で  
学習に集中しました。





久留米市では、昭和63年10月1日に市民と行政の指針である「久留米女性憲章」を制定しました。その翌年、憲章制定日である10月1日からの1週間を「久留米女性週間」と定め、その記念事業として「くるめフォーラム」を毎年実施しています。

今回の記念講演は、作家の下重暁子さんが自身の著書と同じ「年齢は捨てなさい」をテーマに講演。多くの方が来場されました。

このレポートは、10月6日に行われた講演の一部を要約したものです。

### ●年齢は自分で決める

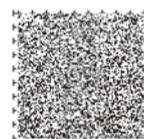
男女共同参画社会づくりをすすめていく上での課題として、セクハラ・パワハラ等のハラスメントにすることがあるが、私は「エイジ（年齢）ハラスメント」を流行らせたい。エイジハラスメントがあるのは日本だけである。日本の社会は「年齢重視」で、何でも実年齢でくくろうとする。マスコミは必ず年齢を書き、人の歳に前期も後期も無いのに「後期高齢者」と言う。高齢者は、部屋すら一人では借りることができないなど、世界でも珍しい国となっている。年齢には、実年齢と自分で自覚する年齢の二つがある。歳をとっていても個性は個性であり、実年齢と自分が築いてきた年齢は違う。私の年齢は現在83歳だが、体力も頭の回転も自覚している年齢は60代。敗戦前後で世の中が激変した頃に、自分で考えて生きていくと決めたところから私の年齢は始まった。

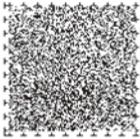
### ●男女共同参画社会のこれから

これまでたくさんの会議に出席してきたが、どの会議も黒一色で男性ばかり。女性は少なく、どこが男女共同参画なのかと思った。男女共同参画基本法が成立して20年が経過したとのことだが、日本の組閣を見ても女性議員は2人である。増えるどころか減っている一方で、先進国の中では最下位である。選択性夫婦別姓についても、主要先進国で制度がないのは日本だけであり、未だ国会では論議すらされていない。これらのことを自分の問題としてしっかり考えてほしい。なぜ、男女共同参画が上手くいっていないのか。口先だけではいつまでたっても絶対に進まない。憲法第9条の戦争の放棄が一番大事だが、その次に大事なものは憲法第13条個人の尊重である。一人ひとりの人間がそれぞれ違うことを個性といい、誰もが同じ社会で自分らしく生きなければいけない。男女が社会の対等な構成員として、私たち自身が声をあげて男女共同参画社会の形成を目指していくべきである。

### ●年齢を超越するという事

当時、私は物書きになりたかったが、新聞社も雑誌社も大手の出版社もどこも女性は採用しておらず、男性ばかりの採用だった。言葉について勉強をしたいと思った時、選択肢は無く放送局しかなかった。放送局では制作希望であったが、そこは男性ばかりで女性は配置されなかった。女性はアナウンサーのみで、顔と声が必要なだけだった。しかし、物書きになることを諦めず、どんな小さな仕事でも引き受けてきた中、私は最近になってようやく「元NHKアナ」ではなく、物書きとして認められるようになった。本当に大事なものは自分の中の年齢を作り上げ、自分で人生を決めていくこと。日本では「同調すればいい」となりがちだが、これが一番良くない。みんなに合わせても、死ぬときは一人。人に期待をしては駄目。期待は自分にするもの。皆さんも今いる人生をはつらつと自分らしく生きてほしい。それができないと何も開けてこない。どうやって自分を生かしていくか自分を卑下せず無限の可能性を信じて自分らしく生きてほしい。





## 特集 久留米女性週間記念事業 男女平等社会づくり

# くるめフォーラム2019

9月28日(土)、10月1日(火)～10月6日(日)

久留米女性週間記念事業「くるめフォーラム」を、今年は久留米市政施行130周年記念と冠して開催しました。第30回目となる今回は、市内31団体、総勢45人からなる実行委員会を結成し、9ヶ月かけて準備をすすめてきました。実行委員会の皆さんや関係団体の皆さんのご協力により、記念講演や映画上映、展示・バザーや、市民団体による講演会やワークショップ等が行われ、記念講演では会場の外まで人があふれる盛況ぶりでした。

※講演の要旨は3ページ

### 映画

マイ・インターン(2015年、アメリカ)を上映。ニューヨークの若き女性社長と、70代の男性インターンの世代間のギャップや、性別、年齢、地位を超えて、徐々に芽生える信頼と友情を爽やかに描いた作品でした。

参加者からは、「自分らしい生き方を教えてくれる映画でした」「現代の課題や悩みなどすべてが入っていて楽しくみれました」「男女だけでなく若者や老人の関係にも踏み込んでいてよかった」「女性の社会進出が多い中、夫婦間のワークライフバランスを考えるいい機会でした」「男性の前向きな姿やシニアだからこそできる気遣いなど、性別に関係なく素晴らしかった」などの声が寄せられました。



### 展示・バザー

展示コーナーでは、男女平等をテーマに表現したオブジェや絵画、これまでのくるめフォーラムのリーフレットや、団体活動紹介のパネルなど、各団体の思いが詰まった作品が飾られ、来場者の目をひいていました。

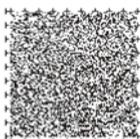
バザーコーナーでは、地元の新鮮な農産物や農産加工品のほか、手作りのプレスレットや絣を使った小物など、様々なものが販売されました。また、調理実習室では、できたてのおこわや豚汁、おでんや焼きそばなども販売され、多くの方が笑顔で食べている姿がみられました。



### 実行委員会挨拶

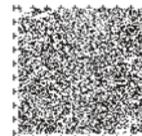
今年は30回記念のフォーラムとして実施し、えーるピア会場での2日間は、多くの市民の参加があり盛会裏に終わりました。多様化の時代に様々な分野で、男女平等の視点はとても重要です。久留米女性憲章の理念にあるようなまち、男女平等社会づくりが進むことを期待します。

吉岡マサヨ実行委員長



## 市民企画

各市民団体が工夫し、憲法、人権、介護や地域など多様な分野と男女平等、ジェンダー意識を掛け合わせた企画を実施しました。参加者は、それぞれの課題を身近なこととしてとらえ、あらゆる分野における男女平等への思いを深めた様子でした。



男も介護する時代を迎えて



【城島女性ネットワーク】

みんなの人権、そして女性の人権



【北野女性ネットワーク】

なぜ、沖縄の人々、女性たちは  
声を上げ続けるのか  
～女性の人権を考える～



【新日本婦人の会久留米支部】

園児っ子のすこやかな発達を願って



【男女平等教育をすすめる会】

娘として、母との関係を考える



【福田由紀子】

憲法を生かして  
「平和と平等」「個人の尊厳」



【女問研・北京JAC久留米、  
I女性会議、For Peace】

私たちの未来に原発いりますか？  
～フクシマから学ぶ～



【さよなら玄海原発の会・久留米】

LGBTQ×障がいやメンタルの悩みが  
ある人って？～ダブルマイノリティの  
困りごと、できること～



【あいたた倶楽部】

安心して暮らすための充実した  
介護サービスの行方  
～要介護予備群からの提案～



【高齢社会をよくする会・久留米】

アフガニスタンの女性警察官と  
ジェンダー、暴力について語り合おう

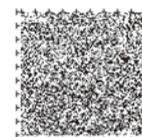


【S・ぱ～ふるリボン】

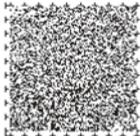
女性に対する暴力根絶の願いを込めて  
パープルリボンツリーを作ろう!



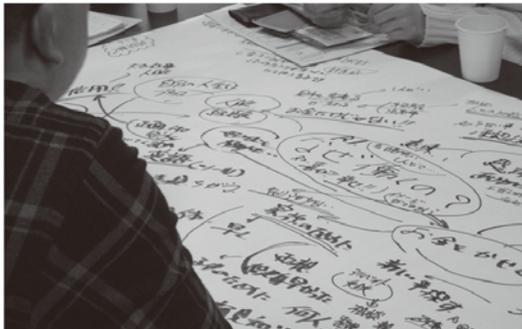
【S・ぱ～ふるリボン】



## 事業紹介



# 次世代男女共同参画促進事業 学生と社会人のワールドカフェ これからの自分をデザインする! ~働くこと・生きること~



上：学生が話を聞いて感じたことを記載した模造紙  
下：社会人の方と意見交流をする様子

福岡女子大学准教授の和栗百恵さんをコーディネーターに迎え、学生を対象に、社会人と語り合いながら固定的性別役割分担意識にとらわれない働き方や生き方の理解を深めるセミナーを開催しました。各部・各科様々な学生が参加し、新聞記者、銀行員、会社員、経営者など13名の社会人と交流しました。

学生は、ラウンドごとに異なる社会人のテーブルを回りながら、働くこと、生きること、成長や苦勞、女性の活躍推進・男女共同参画などのテーマについて、意見交換をしました。ラウンドごとのテーマに沿って、「自身の価値観への揺さぶり」を感じたことや「新たな視点への気づき」を模造紙に記載していきました。

全てのラウンドが終了し、最初のテーブルへ戻ってきた学生たちは、自身の価値観や考えを見つめ直し、これからの自分をデザインするヒントを得たようです。

### 学生の声

- ・男性が家族のためにお金を稼ぐという根幹があったが考え方が変わった。
- ・育児の考え方や「言葉」の選び方で気持ちも大きく変わることを学びました。
- ・育児や産休、介護休業について実際に話を聞いて考え方が広がった。
- ・自分と他人とは価値観が違うから、価値観に引きずられることはないという言葉が印象に残りました。

## パープルリボンキャンペーン2019講演

# ハラスメント新常識 あなたの理解で大丈夫？



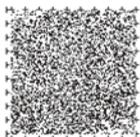
講師 金子雅臣さん  
(一般社団法人職場のハラスメント  
研究所所長)

様々なハラスメントが社会問題として大きくクローズアップされる中、ハラスメントについて正しい認識を学ぶ講座を開催しました。

ハラスメントとは、他人に対する発言や行動などが、本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えることをいう。行為者が無自覚なことも多く、受け止める側にも個人差がある。多様なハラスメントがある中、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）やパワーハラスメント（パワハラ）など、大きな社会問題となっているものは近年法規制ができてきている。

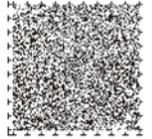
セクハラとは、職場において行われる性的な言動で労働者の対応によりその労働条件につき不利益を受けること、またはその性的な言動により当該労働者の就業環境が害されることと定義される。判断基準は被害者の不快感の程度や地位、関係性であり、性的関心があるかなどの加害者側の動機はセクハラかどうかの判断には不要である。また、セクハラはコミュニケーションギャップによるものではない。

パワハラは職場において行われる優越的な関係を背景とした言動であって、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより雇用する労働者の就業環境が害されることと定義される。判断基準は、業務、指導の範囲を超えていないか、相手の人格、人権を傷つける言動になっていないかである。



# 女性に対する暴力のない社会を目指して！

～パープルリボンキャンペーンを実施しました～



内閣府は、11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間として定めており、久留米市でも「パープルリボンキャンペーン」と題し、女性に対する暴力根絶の象徴であるパープルリボンの普及啓発とともに様々な取り組みを行いました。

## オレンジ&パープルツリー

パープルリボンと、児童虐待防止の啓発の象徴であるオレンジリボンを合わせたオレンジ&パープルツリーを市役所と久留米シティプラザに設置しました。またパープルツリーを市内の大学と西鉄久留米駅に設置し、多くの若者や市民に啓発しました。



市内大学



西鉄久留米駅

## パープルリボンマルシェ

11月14日市役所ロビーにおいて、女性の被害者支援や自立を進める民間団体の「ぱ〜ぶる工房」と「メリコア」が、市と協働でパープルリボンマルシェを開催しました。手作りの小物やマルシェ限定の久留米餅で作ったパープルリボン等を販売し、たくさんのお客様で賑わう中、女性に対する暴力をなくす運動を広めました。



オレンジ&パープルツリー



パープルリボンマルシェ

# 性別にとらわれず活躍した団体を表彰 ～久留米市男女共同参画社会づくり表彰～

久留米市は、地域において性別にかかわらず個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に寄与した人や団体を表彰する、「男女共同参画社会づくり表彰」を実施しました。第1回の今年度は、次の2団体が受賞しました。

## 津福校区まちづくり協議会

津福校区まちづくり協議会は、地域の活動に女性の参画を促すとともに意思決定の場に女性を積極的に登用していることや、まちづくりに多様な意見は不可欠と言う意識が根付いていることなどが評価されました。

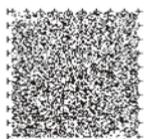
## 久留米市消防団有馬火消しはしご隊

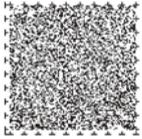
久留米市消防団有馬火消しはしご隊は、性別に関わらず隊員を募集し女性の活躍する機会を提供していることや、女性の参画や活躍する姿を広く市民にPRすることで、「消防団やはしご隊は男性が務めるもの」という固定的性別役割分担意識の払拭が図られていることなどが評価されました。



上:津福校区まちづくり協議会

下:久留米市消防団有馬火消しはしご隊





# 相談室だより

## ～囚われによる生きづらさ～

### ●家族の変化と囚われ

「家族」の形態は時代と共に変化しています。戦前は祖父母を含めた三世家族が多かったのですが、戦後の高度経済成長期以降からは核家族が主流となり、現在は多様化しています。

しかし、「家族」のあり方が変化中、家に対する固定観念に囚われ続けている人たちが数多くいます。

### ●「家」に囚われ続ける状況

現在、憲法第24条に「婚姻は両性の合意のみに基づいて成立する」と謳われています。しかしながら、「〇〇家」に嫁ぐという、明治民法を根拠に形成された考え方が色濃く残っている現状があります。

未だに、『〇〇家の嫁なので、義父母の世話をするのは当然』と言う夫や夫の親戚。そして、そう思い込んでいる妻たちもいます。

民法上、夫の両親の扶養義務者は直系血族である夫

や夫の兄弟であり、姻族である妻には扶養の義務はないのですが、相談に来られる方の中にもこのことを知らない女性たちは多くいます。

「家」に囚われた生活の中、家制度の名残によるジェンダー(役割)によって夫婦間に上下の力関係が生じることで、生き辛さを感じている女性たちがいます。

### ●家族神話の縛り

CMやドラマなどのメディアでは、楽しそうに家族で食卓を囲む姿や一緒に過ごしている姿などが描かれていて、家族の笑顔があちこちで見られます。

このようなメディアが発信するいわゆる「理想的な家族像」に心を悩ませている人もいます。多様な家族のあり方がある現代、それぞれの生き方を肯定できるはずなのですが、自分の現実と理想的と思わされている家族像とのギャップに悩んでしまうのです。

相談室ではこの様なことについて受容、傾聴しながら伝えていくことで、女性たちが生き生きと自分らしい生き方をされるように支援をしています。

## パープルリボンキャンペーン 図書情報ステーション

11月12日から11月25日までのパープルリボンキャンペーンで行った講演会や上映会に関する図書や視聴覚資料をご紹介します。



講演会「ハラスメント新常識あなたの理解で大丈夫？」関連

### 職場のハラスメント基礎講座

～セクハラ・パワハラ・マタハラ～

金子 雅臣 監修・解説

株式会社アスパクリエイト制作 2019年

セクハラ、パワハラ、マタハラそれぞれのテーマで、定義や判断基準と事例で構成された分かりやすい研修用DVD。

上映会「デザート・フラワー」関連

### 砂漠の女ディリー

ワリス・ディリー著 草思社 1999年

遊牧民の少女ワリス・ディリーは、親から高齢男性と結婚させられそうになり夜の砂漠へ逃げ出した。衝撃的な女子割礼の事実を公表し、世界的なベストセラーとなった話題作。映画『デザート・フラワー』の原作。



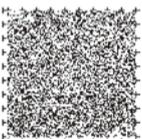
講座「女性のための護身術」関連

### 女性のための危機回避マニュアル

読むだけで安全度が150%UP!

榎出版社 2015年

普段からできる防犯対策をはじめとして、いざというときに逃げる時間を稼ぐための実技を紹介。



●編集・発行●  
令和元年12月

### 久留米市男女平等推進センター

〒830-0037

久留米市諏訪野町1830-6

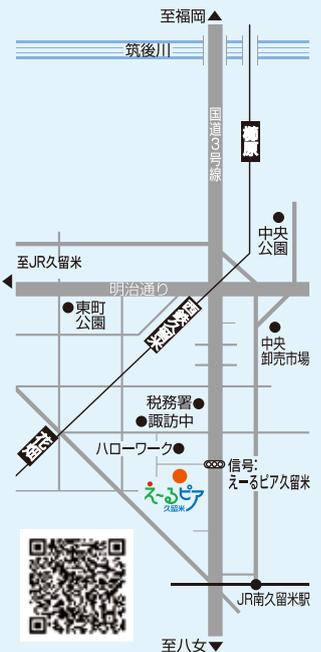
えーるピア久留米内

TEL. 0942-30-7800

FAX. 0942-30-7811

URL. <http://www.city.kurume.fukuoka.jp>

E-mail. [danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp](mailto:danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp)



- 徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)
- バス/西鉄久留米駅から約5分  
JR久留米駅から約20分  
「税務署前」下車、徒歩5分
- 駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この広報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。